

2023年2月15日

各位

株式会社もみじ銀行

### せとうち観光サステナブルファンド (せとうち観光活性化2号投資事業有限責任組合) への出資について

もみじ銀行(頭取 小田 宏史)では、瀬戸内の地域金融機関7行(阿波銀行、伊予銀行、中国銀行、百十四銀行、広島銀行、みなと銀行、山口銀行、以下「瀬戸内7行」)、日本政策投資銀行(以下「DBJ」)とともに、せとうちDMOの一翼を担う「株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション」の取り組みを推進するため、せとうち観光サステナブルファンドへの出資を決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本ファンドでは、地域における重要な観光産業の成長資金の担い手として、観光関連事業者に対して必要な資金支援を行ってまいります。

#### 記

#### 1. せとうち観光サステナブルファンドの概要





商号	せとうち観光活性化2号投資事業有限責任組合
組成日	2023年2月15日
所在地	広島県広島市中区基町10番3号
ファンド総額	49億円
無限責任組合員(GP)	株式会社せとうち観光パートナーズ
有限責任組合員(LP)	当行、瀬戸内7行、DBJ

#### 2. ファンド運営会社の概要

商号	株式会社せとうち観光パートナーズ
代表者	代表取締役社長 丹治 朋之(たんじ ともゆき)
本店所在地	広島県広島市中区基町10番3号
設立日	2016年3月17日
事業内容	ファンドの運営・管理
株主	山口銀行、阿波銀行、伊予銀行、中国銀行、百十四銀行、広島銀行、みなと銀行、DBJ、株式会社ジェイ・ウィル・アセットマネジメント

### 3. 山口フィナンシャルグループのサステナビリティへの取り組み

山口フィナンシャルグループは、持続可能な社会の実現に貢献していくために、「グループサステナビリティ方針」を策定し、この方針に基づき、重点的に取り組むべきESG課題である「マテリアリティ」を特定しております。本件は、12のマテリアリティの中で「②地域におけるイノベーション創出、地域産業の成長サポート」の実現に資する取り組みです。

 <p>地域社会・ 経済活性化への 取り組み</p>	<p>①人口減少・少子高齢化への対応 ②地域におけるイノベーション創出、 地域産業の成長サポート ③地域コミュニティとの連携強化 ④商品・サービスの安全性と品質向上</p>	 <p>環境保全への 取り組み</p>	<p>⑤省資源・省/創エネルギーへの対応 ⑥大気汚染・気候変動への対応 ⑦環境に配慮した商品・サービス開発</p>
 <p>役職員全員の 働きがいへの 取り組み</p>	<p>⑧人材育成・研修機会の創出 ⑨安心・安全な労働環境作り ⑩多様な人材の活躍 (ダイバーシティ&amp;インクルージョン)</p>	 <p>強固な 経営基盤づくり への取り組み</p>	<p>⑪ガバナンス体制・内部統制の強化 ⑫経営の透明性向上と説明責任</p>

以上

#### 【本件に関する問い合わせ先】

もみじ銀行 営業統括部  
河野 (082) 258-9331

<ご参考>

「せとうち観光サステナブルファンド」体制図

